

2025年度一般選抜(学部学科試験・共通テスト併用方式)

記述式問題 解答例

学部・学科:2月7日 総合人間科学部 【教育・社会・看護学科 共通試験】

I

- (1)

1	埋没
---	----

2	自明
---	----

3	隔離
---	----

- (3) (解答例)
人々との交流やつきあいのない孤立は避けたほうがよいが、孤独は自らを一人で見つめ直す良い機会ともなる。(50字)

- (4)

ア	個人主義
---	------

イ	家族主義
---	------

- (5) (解答例) 高齢者がパソコンを使えず、情報を入手できないこと。(25字)
貧しい家庭でオンラインの学習環境の準備に困ること。(25字)

II

- (3) 【解答例】対外的には自文化の個性性を重視し、国内的には多様性と統合の葛藤を抱えていること。(40文字)
【ポイント】解答は、下線1の直前の段落の内容をまとめると答えることができるようになっています。ポイントは2つです。
①対外的な特徴と国内的な特徴の2つの側面があることを捉えているか。
②それぞれの特徴をとらえているか。

- (6)

E	【正答】流動的 【ポイント】直前の「多様で、個別的であり」とは異なる特質(変容するもの)を示す用語を選ぶ必要があります。 【誤答例】普遍的、重層的、抽象的、加速度的、積極的、雑種の
---	--

- (7) 【解答例】文化は多様で個別的、流動的であることを、対話や交流により相互に理解する機会を創ること。(43文字)
【ポイント】3つの要素と文の整合性を評価ポイントとします。
①対象として「文化」をとりあげ、特徴(多様で、個別的であり、かつ流動的)に言及しているか。
②方法として対話や交流ということに言及しているか。
③機能として機会を創るということに言及しているか。
④文の整合性